

一般用

インフルエンザやコロナウイルスなど心配なことが多い昨今ですが、皆様は大丈夫でしょうか。支部会報 No.2 (2020年2月号) をお届けします。中国四国支部は、本部役員をはじめ日本サーバスの会員の皆様のおかげで、無事に2019年度の活動を終わることができ、感謝しています。ホスト・デイホスト活動をはじめ、支部会開催や国際フェスタ参加などでは、支部会員ひとりひとりがそれぞれの立場でできる限りの協力をしました。特に国際フェスタでは、会員増を目指して来場者にサーバスを知ってもらおうとがんばりました。蒔いた種が芽を出し、育ちますように。新年度が楽しいものになりますように。

日本サーバス中国四国支部長 U.T.

本号の内容

- 1 2019年度活動報告 (会員数・受け入れ数・支部会・行事など)
- 2 2020年度活動予定
- 3 2019年度決算報告
- 4 2020年度予算
- 5 2019年度後期 行事・トラベラー・ホスト体験記
  - 1) 「国際フェスタ2019」レポート M.T.
  - 2) フランスとの絆に感謝 N.M.
  - 3) ドイツサーバス(クリスマス)旅行 Y.M.
  - 4) オランダからのトラベラー S.S.
  - 5) オーストリアからのトラベラー U.S.
  - 6) カナダ・フランス・日本 S.Y.
- 6 お知らせとお願い

## 1 2019年度活動報告

- 1 会員数：ホスト会員12名、トラベラー会員1名、休会者1名
- 2 LOIを発行した会員：トラベラー会員1名
- 3 トラベラー受け入れ状況
  - 2019年4月 イスラエル2名(ホスト)、スコットランド4名(デイホスト)
  - 5月 フランス2名(ホスト)、フランス5名(ホスト)
  - 9月 オーストリア1名(デイホスト)
  - 10月 フランスとカナダ2名(ホスト)、オランダ1名(ホスト、デイホスト)
- 4 会報発行 (2回)

2019年6月号、2020年2月号

5 支部会、例会等（そのつど支部会員に報告書送付済み）

2019年2月3日（日）中国四国支部会 2019年度新役員選出

2019年3月16日（土）、17日（日）第41回日本サーバス国内会議（広島）

2019年5月12日（日）中国四国支部会

2019年8月18日（日）中国四国支部会兼国際フェスタ準備会

2019年11月17日（日）国際フェスタ参加

2019年12月8日（日）中国四国支部会 2019年度まとめ

**2 2020年度活動予定**

2020年 4月初め 花見例会

2020年 5月24日 2020年度初めの支部会

2020年 6月 会報発行

2020年 8月 国際フェスタ準備会（1）

2020年 10月 国際フェスタ準備会（2）

2020年 11月 国際フェスタ本番

2021年 1月17日 2020年度末の支部会（決算報告・役員選出）

2021年 2月 会報発行

2021年 3月 国内会議

**3 2019年度決算報告** web版省略

**4 2020年度予算** web版省略

**5 2019年度後期** 行事・トラベラー・ホスト体験記

## 「国際フェスタ2019」レポート

M.T.

2000年（平成12年）にスタートし、今回で20回目となる「国際フェスタ2019」（主催：公益財団法人広島平和文化センター、共催：独立行政法人国際協力機構中国センター、公益財団法人ひろしま国際センター、広島市）が2019年（令和元年）11月17日に広島国際会議場で開催されました。本支部は「国際交流ネットワークひろしま」に加入する団体を対象とする公募事業「市民団体等活動紹介コーナー」に今回も応募し、計20の市民団体が参加する中で、我々のサーバス活動を自己紹介する絶好の機会を得ました。支部長以下経験豊富で発想力豊かな会員のアイデアを生かしたブース設営と紹介内容の準備を進めました。サーバス組織を国別にカラーシールで表示した「世界地図」、写真入りで作成した「ホスト活動」「デイホスト活動」「トラベラー受け入れ報告」に関する各ポスターをボードにて掲示・紹介し、また、本支部の活動内容

を紹介する



リーフレットを作成して説明・配布するとともに、子どもさんを対象とする折り紙（特に平和の象徴である飛ぶ鳥の折り方）指導、来訪者への折り紙プレゼント（猫とリース）なども用意して交流を深めました。当日は本支部が「SDGs ってなに！？スタンプラリー」の団体に指定されたこともあって多くの親子でのブース来訪で賑わいました。初めての参加でしたが、支部長・会員の方々の丁寧かつ熱心な対応がすばらしく、会員相互の交流も楽しく大変有意義な一日を過ごすことができました。

### フランスとの絆に感謝

N.M.

「Je vais vous aider」と、朝早く一番に起きてきたSが台所に立つ私に声をかけてきた。早速スマホアプリで、彼女のフランス語を和訳、そしてビックリ、たった9歳の女の子が、忙しそうな私を気遣ってお手伝いさせてくれと言うのだ。これまでに、オーストラリア、アメリカ、ポーランド、タイ、韓国等の子連れのパラドゥーを受け入れて来たが、こんなにも、気配りのできる子供は初めてである！フランス人の家庭の教育力の素晴らしさに頭が下がる思いがした。折しも我が家は、娘のパリでの挙式を控えていたので、現地の情報を色々聞くこともできて、とてもありがたかった。しかもパリにいるSの祖父と国際電話で話すこともでき、貴重な現地情報を得ることもできたのだから感謝感激。さすが、サーバスインターナショナル！！

両親と3人の幼子の、このフランス人家族は、文化レベルも高く、団らんのひとときに、家族で歌を聴かせてくれた。（4歳のEはお昼寝中であつたが…）父Sのギターに合わせて、4人が歌うフランス語の心地良い響きとハーモニーを、思い出す度、胸が熱くなる。

6歳のイケメンのJは、帰国後の手紙で「フランスは良い国、でも日本の方がもっと良い」と習いたてのフランス語で書いて来た。さらに、余程日本が気に入ったらしく、電話で話した祖父

も数か月後に来日したと聞き、またまた感激。滞在中に母 M が作ってくれたフランス料理 Ratatouille は、我が家でもお馴染みのメニューになった。

この絆は世代を越えて、ずっと続くであろう。立派に成長した3人の子供たちに、またいつか会える日が来ることを願っている。長生きせねば！ (2019年5月27日~29日受け入れ)

## ドイツサーバス(クリスマス)旅行

Y.M.

私達は、関東、中部、広島、九州、の各地から10名参加で、ルール地方、ライプチヒ、ハンブルク、フランクフルトの四地区を11月29日から12月10日まで旅しました。私は会員の義妹で、トラベラーとして参加しています。英語は得意ではありません(笑)。

11月29日の夜、グループごとに到着したメンバーがフランクフルトのホテルに集まり、その晩はホテルに泊まり翌朝ルール地方に向かって出発しました。実は姉さんと私は、出発直前に元々受け入れ先だったホストさんのお熱で、急きょK夫妻と一緒に、ルール地方のコーディネーターをされている、CさんとHさんのお宅にお世話になることになりました。Hさんは背も高く、声も大きく朗らかで、工業都市だったルール地方の変化をよく見てほしいという、思いのあふれた方でした。

ここでの2日間は、ミュールハイムとハッティンゲンという街のクリスマスマーケットを皆で歩き、その後ホストと参加者の交流会が計画されていました。ルール地方は緑も多い所で、デュイスブルグのHさんの家からミュールハイムまで、歩いて行きましたが、そこは緑や川のある素敵な散歩コースでした。ミュールハイムには川があり、舟や夜店に電球がきれいに飾られていました。そこでお店を覗いてみたり、食事をしたあと、皆で集まってお菓子とか食べながら話をしたりしました。たまたま私達のテーブルには、若い日本の女性が座ってくれ、ドイツの現状や事情が聞けたのが、楽しかったです！

翌12月1日、デュイスブルグにあるレームブルック美術館に、K夫妻と私達4人で行きました。ここは、彫刻が中心のモダンな美術館でした。その後私達はホストのCさん達と一緒にトラ

ムに乗り、駅で他の皆さんと待ち合わせ、列車に乗り換え中世的な街ハッティンゲンに到着しました。暗くなるにつれ、人が増え、ほのぼのとした劇を見て、皆で食事。ホストの皆さんの温かさが伝わる2日間でした。

翌12月2日は、ライプチヒに移動です。Cさんは列車で食べるようにと、ピザを用意してくれました。心良く受け入れて下さったC夫妻には深く感謝です！

ライプチヒのニコライ教会で、ホストのSさんとAさんに出会い、ホットワインを飲み、クリスマスマーケットを見てアパートに帰りました。Sさんの家では、お姉さんの部屋に、体操の写真やメダルが何個も掛けてあり、話を聞きに行くと、何と1980年モスクワオリンピックの器械体操の銀メダリスト！オ〜〜〜！！ですね！実は私の娘も7才から20才まで器械体操をやっており、今は小さなお子さんや小学生たちに教えています。また孫娘たちも体操をやっていて、Sさんは神様みたいですよね。

翌日の午前中は英語でのガイドツアー。14時から18時半まで自由行動だったので、お姉さん、S子さん、私の3人はライプチヒ造形美術館に行き、14時から18時まで十分堪能しました。18時半から皆で食事、その後また一緒に帰り、体操の基本練習とか色々教えてもらい、本当に奇跡の様なステイでした。

翌日4日ハンブルクに移動。ホストのPさんに昼過ぎに会いました。K夫妻たちと一緒にハンブルクの街を歩き、お茶を飲んで別れました。Pさんの家は車で45分位かかり、Volksdorfというちょっと遠いところにお住いでした。少し年配で、お一人で何でもされるのですが(週一お掃除に来てもらう)、家の中はどこまでもセンス良く、きれいに片付いていることに感心しました。

12月6日自由行動の時に、お姉さんと2人ハンブルク美術館に行きました。見る時間は少なかったのですが、大きな美術館でした。その日は夜の9時にザンクトパウリのドムに集合。なんとか人に聞きながら、二人でたどり着きました。ドムは遊園地で、夜の遊園地と最後の花火は刺激的??に、にぎやかで寒かったです。

翌日、ハンブルクからフランクフルトまでの列車はとても混んでいて、席が予約されてなければ、荷物はあるし大変でした。ドイツでは予約されてなければ、誰でも座って良く、予約席の上

にハンブルクからフランクフルトなど小さくライトが付きます。この体験は、その後グreta・トゥンベリさんがドイツの鉄道は混んでいたと言ったことでニュースになり、ドイツの鉄道事情が紹介されていたので、面白かったです！

フランクフルトではOさんと一緒に、Dさんの所にお世話になりました。Dさんの所では皆でクッキーを作ったりして、本当に暖かく迎えて頂きました。ここフランクフルトでも、皆さんとシュテッデル美術館に行く事ができ、私は4つの地域それぞれの美術館に行くことができました。4ヶ所はとてもしないだろうと思っていたので、嬉しかったです。ドイツのお家はどこも、とてもきれいに片付いていて素敵でした。ホストの皆さんだけでなく、参加の皆さんの素晴らしさにも心うたれ、すごいカルチャーショックを感じています。本当に素晴らしい経験をさせて頂いたと思っています。ありがとうございました。

## オランダからのトラベラー

S.S.

10月24日昼過ぎに、本日デイホストをするオランダ人のMさんに会うために、呉駅で彼女が現れるのを待っていた。サーバスのLOIの写真を1度見ただけで、容易に見つけられたのが不思議だった。何か外国人という感じがしなかった。その理由は、最近外国人をよく見かけるからか、オランダ人が昔から日本人とは深い関係があり、親しみやすいのか？その日は久しぶりの大雨で、駅近くのホテルのカフェでコーヒーを飲みながら、2時間位いろいろな事をしゃべった。さて、せっかく呉に来たのだから、どこか案内したいな、と思案した。Mさんがアートギャラリーに勤めていた事を知り、また私自身も以前から行きたいと思っていた、呉市立美術館への並木道に彫刻が点在する「美術館通り」に案内することにした。ええー、この大雨の中？クレイジー？でも行ってしまった。



少しは小雨にはなったが、傘は手放せない。ストリートの両側に老若男女、動物の彫刻が雨に

打たれながら立っていた。それをひとつずつ2人で話しながら見て回った。私一人なら、若いバレリーナを見れば、「美しい！」で終わりだ。でも、Mさんはその若く美しい彫刻はずっと見ると少し飽きてくる、しかし、その反対側にいる腰が曲がり、顔にも深いしわのある老女はいくら見ても、ずっと鑑賞できる、と言った。人間、みな年を取り、死を迎える、それが芸術の大きな題目だと言った。他にも説明が素晴らしかった。結果、私が案内したのではなく、Mさんに案内してもらったようなものだった。彫刻の中にある表現の豊かさに目覚めた時間だった。私はMさんと、あの雨の中、彫刻を見て回ったすばらしい時間を忘れないと思う。

## オーストリアからのトラベラー

U.S.

9月9日(月)と11日(水)の2日間、オーストリアのバート・タツマンズドルフ (Bad Tatzmannsdorf) 市からのトラベラー、I.V.さんのデイホストをしました。

最初は9月11日の一日のみの予定でしたが、会員の都合で、急遽、9日もデイホストをさせて頂くことになりました。

9日は、仕事終了後、午後6時に「そごうデパート」で待ち合わせをしました。お互い、すぐわかり、“Welcome to Hiroshima!” と言って、hugで始まりました。初対面とは思えないくらい、すぐ打ち解け、洋服売り場で、共に気に入ったジャケットを着用し、“We are Twins!” と言って、興じました。

夕食は、広島名物「お好み焼き」を紹介しました。いろいろなバリエーションがありますが、ポークは食べられないと言われ、エビ入りを注文し、トッピングにたっぷりネギをかけてもらいました。すごく美味しかったらしく大満足でした。食事をしながら、「彼女のお母さんは、命をかけて、自分を生んでくれたので、とても感謝している」ということや、「退職後は貯めたお金を旅行に使い、多くの体験を楽しみたい」とか、「日本は大好きで、特に奄美大島は静かで、落ち着





けるので一番気に入っているのです、また来たい」など、いろいろ有意義な会話を楽しみました。実際、I.V.さんは今回5度目の来日で、奄美大島は4度目の訪問をされました。夕食後は、「ベトナムミーズカフェ」でジャスミン茶を味わいました。店内のインテリアに興味津々で、写真を撮たくさん撮られ、まだ、行っていないベトナムに是非、旅行したいと言われていました。



11日は、滞在ホテルのロビーで午前9時に待ち合わせ、縮景園に行き、園内を散策した後、県立美術館で開催中の「広島浅野家の至宝展」とリンクしたお茶会に参加しました。お茶の先生や参加者の方々と自由な雰囲気でお茶を味わうことができ、とても感激されていました。今まで経験されたお茶会は静かで厳粛な雰囲気だったそうで、今回のような参加者の方々との楽しい会話、浅野家のご紋入りのお菓子の説明、お手前の方との写真撮影など、和やかな雰囲気は印象に残ったようです。

「広島浅野家の至宝展」では、宗や元時代に描かれた絵の中の「雀」を見て、“That’s Me!”と冗談を言われました。鑑賞後、空腹だったので、園内の「泉水亭」で昼食の「おむすびセット」を注文したところ、お味噌汁が好物とのことで、美味しそうに召し上がっていました。「泉水亭」の雰囲気が日本的で、“I like this place! It’s very nice!!”と、喜んでいただきました。

食後は、美術館内で珈琲をご馳走になり、ホテル近くまで徒歩でお送りしました。別れを惜しみながら、お互い、何度も手を振り続けました。2週間後は、ネパールを旅するとのこと！ 体育教師をされていただけに、エネルギーな行動力に圧倒されました。

数週間後、ネパールのNagarkotからムーヴィーが届きました！！ お元気なお姿にホッとしました。





S.Y.

★MさんとRさんが来られました。

★カナダ、フランス、そして日本と third location で楽しみました。

★日本の料理を堪能してもらいました。料理は、和洋折衷でした。Mさんからは、かわいいバターナイフをもらい、Rさんからは、ワイルドなお土産をもらいました。会話が弾んで、楽しい会でした。

★JAPANESE flower アレンジメントの体験がありました。母が教師で、「池坊流」の生け方を教えてくれました。私は、プリザーブドフラワー show をしました。

★ 次の日は、直島に行かれました。

## 6 お知らせとお願い

- 1) **2020年はSOL強化年**： 既にメールでお願いしておりますが、まだの方はSOL登録の方、よろしくお願ひします。また、お時間を作ってサーバスのホームページもぞいてみてくださいね。いろいろな可能性が見えて、楽しくなること請け合いです。
- 2) **次の予定**： 花見例会。たぶん4月初めになります。コロナウイルスの状況がよくなっていることを祈ります。
- 3) **お礼**： 会報原稿の執筆と校正のご協力ありがとうございました。お蔭様で支部会員の気持ちのこもった会報ができました。今後もいろいろ工夫して楽しいものにしたいと思ひますので、編集委員になってくださる方を求めています。力をお貸しください。

(U.T.)

